

# 理事通信



VOL. 13

2011年4月4日発行

## 臨時 西日本区理事通信 3

### 被災地（仙台地区）理事レポート

西日本区理事 仁科保雄

4月2日より3日まで、西日本区理事として東日本区の松田理事と共に、今回の東日本大震災の被害を受けられた仙台に行っていました。

私の目を見た仙台地区の報告をさせていただきます。仙台市内は比較的損害は軽微ですが、海沿い、また、川沿いは想像を絶する被害です。神戸大震災も大変でしたがそれを大きく上回る被害状況でした。

海沿いに我々は入ることはできません。今、入れるのは自衛隊と警察、消防関係のみで、私達が近づけるのは海岸に近い道路の泥と障害物を除いたところのみで、それでも両側は流された車が何百台と、津波で流された家屋の残骸と共にそのまま放置されています。とても手で出来ることなどありません。

ただ仙台のYMCAと同盟との思いが少し違うところもよくわかりましたが、同盟のお考えもよくわかります。阪神大震災を経験した貴重な資料があるから大変慎重になっておられると思います。

現地では被災地においてボランティアが出来るのは、行政の手の届かない地区が沢山あり、そこに物資を届けることのみです。しつこいようですが災害現地に入ることはできません。

仙台YMCAで会議を開き仙台の3クラブとYMCAの皆さんとこれからの支援対策を話し合ってきましたが、私が聞きたかった情報が直接にいろいろと聞くことが出来、知識を得る貴重な体験を致しました。

今後は、各YMCAからボランティア要請の情報が出てくることにはなりますが、ボランティアを希望される方は必ずクラブに知らせていただき、絶対に怪我などないように活動を開始していただきたいと思います。

宿泊施設としてホテルなどはまだありません。避難所か仙台YMCA会館のみとお考えください。市内に、電気は来ていますがガスは出ません。ガソリン給油は徐々に回復していますが絶えず行列です。

食べ物は比較的豊富になってきていますが、場所によって物資はまだまだ沢山の地域で不足しています。海岸に近い道路の信号はすべて止まっています。

以上が、私が今回、仙台を訪問した感想です。今回の震災において、仙台はそのほんの一部です。これからが本当のボランティアの精神を発揮するところだと思います。よろしくお願い致します。

ワイズメン・ユースのメンバーの皆様、くれぐれも西日本区、YMCA同盟の情報を信じてご活動くださいませ、お願い致します。